

「えだまメンチ」で地域を笑顔に！

活動の経緯

学校のある沼田市から「特産品を活用した商品開発をして欲しい。」という依頼を受け、特産品について調べたところ「①夏季のエダマメが有名である。②しかし、地元では流通していないのであまり知られていない。③丹精こめて栽培したエダマメが規格外等の理由で出荷されず無駄になっている。」という課題があることがわかり、エダマメを活用した「えだまメンチ」を開発することにした。

活動の概要

えだまメンチをイベント販売、学校給食へ提供、市内の店舗で販売、農福連携等の活動で地域を活性化した。



試行錯誤の末、
完成したえだまメンチ



市内全小中学校の給食に提供

活動の成果、主な実績等

県内外のイベントで、高校生が参加することで盛り上がり、販売することで地域の活性化やにつながり沼田市のPRに貢献した。

沼田市内の全小中学校の給食に提供し、高校生が小学校へ出向き、エダマメが地域の特産であり、栄養があることを伝えて食農教育にも役立っている。

飲食店や揚げ物店などで最大30店舗、現在は15店舗で継続的に販売している。沼田市の新名物として定着し、県内外から食べに来るようになり、経済的にも貢献している。更に高校生に触発された販売店が中心となり、「とんかつ街道」の立ち上げにも貢献した。

材料になるエダマメを調達するために鞆ひきを市内の福祉施設に依頼して農福連携に貢献した。